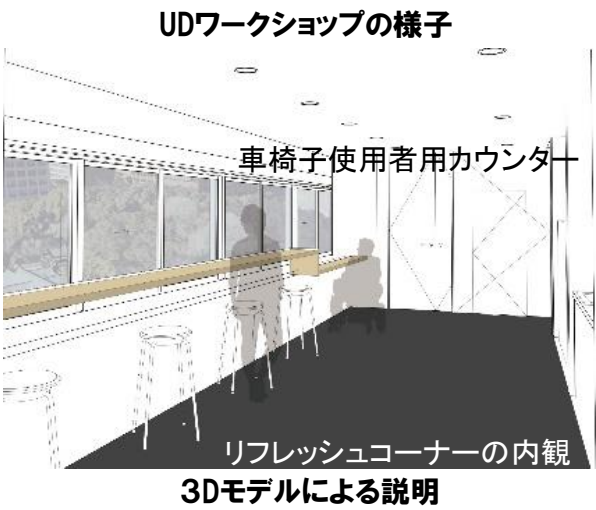


- ✓ 官庁営繕部では、本格的な少子・高齢社会の到来を背景として、ユニバーサルデザインの実現を目指し、高齢者・障害者等を含む**すべての人が、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できる官庁施設**を目指し、施設整備等を進めていくこととしています。
- ✓ 名古屋第4 地方合同庁舎整備等事業では、属性（障がいや言語、性別、年齢など）の差異に関わらず、**誰もが「働きやすい・使いやすい・立ち寄りやすい」施設**を目指して、設計段階におけるUDワークショップを開催しました。
- ✓ 学識経験者をアドバイザーとして30余りの障がい関係者団体に所属する方々から多様な意見を集約しました。



設計段階におけるユニバーサルデザイン・ワークショップのご意見・ご指摘への対応

● 誘導ブロックを適切な配置に改善

- ・誘導ブロックを通路中央ではなく壁沿いに配置しました。
- ・東側のみであった誘導ブロックを西側横断歩道からのアプローチにも追加しました。

配置図

● バリアフリートイレの機能を分散

- ・バリアフリートイレの機能を分散するために、バリアフリートイレの乳幼児対応機能を、1F男女トイレのブースへ移設しました。

変更前

変更後

男子便所

バリアフリー機能分散